

令和2年度 荷待ち時間の解消に向けた取り組みについて

(株)らくのう運輸

○取り組みで良かったと感じたこと

弊社が時間外労働削減を進めていく中、今回の取り組みで荷主様と共通認識を持つ事が出来た事。また重要性、必要性、改善できる部分に着手出来た事は非常に良かったです。

(取り組み例)

- ・集乳ルート見直しをマザーズご担当者様と連携し、次月ルート案作成(入荷時待ち時間削減)
- ・異常乳発覚時の翌日集乳変更(時間外労働時間削減)

○取り組みで難しかったと感じたこと

弊社のみでの取り組みだけでは改善に至らない点がありました。今後の取り組みでは同業他社含めた上での取り組みが必要ではないかと感じました。

例)

- ・集乳ルート及び出発時間の見直し
- ⇒ 他社の工場受け入れ予定時刻がわからず、荷待ち時間抑制の効果が減少

○荷待ち時間を解消するために必要と感じたこと

重複内容となりますが、弊社だけではなく、荷主様含め問題解決(荷待ち時間等)が必要不可欠だと感じました。

○その他感想

オンライン打ち合わせ進行及び資料がわかりやすく、荷待ち時間解消に向けた取り組みがうまく実行できた事。

○令和6年度からのトラック運転者の時間外労働の上限規制適用に向けて、今後取り組んで行きたいこと

昨今、ドライバー不足は解消されておりましたが、人員を増員させ、総労働時間の減少も必要と考えております。改善に向けた施策として、賃金の引上げ及び表彰制度(優秀社員、無事故表彰)等、取り組んで参りました。今後については、若い世代を重点的に雇用できる環境整備を行い、荷主様との協議を進めて参ります。

○取り組みで良かったと感じたこと

- ・ 第三者を介して待ち時間の解消に向けた取組を実施したことで、当事者間で共有出来ない課題や問題点が多くあることがわかり、その課題が少しでも改善できたことが良かったと感じています。

○取り組みで難しかったと感じたこと

- ・ 工場バス使用時間帯の計画的配分を円滑的に実施するための取組として、輸送会社の点呼時刻分散や集乳ルートの見直しを実施し、工場到着時間の分散化における改善が見られたものの、ローテーション(3巡回)における後半の工場荷卸し時間帯に車両が集中するため受乳スペースが混雑し待ち時間が発生しました。
- ・ 工場バスの拡充は、工場施設設備上短期的な改善が難しと感じています。

○荷待ち時間を解消するために必要と感じたこと

- ・ 酪農家の集乳対応時間帯を拡充することが必要であるが、
 - ① 酪農家ごとに異なる搾乳時間帯であること。
 - ② 搾乳する牛のローテーション(8時間空ける)こと。
 - ③ 熊本県下の酪農家が、平等な時間配分を実施すること。等の課題もあり、酪農家の個々の事情を考慮し検討が必要である。
- ・ 集乳ルートの見直しなど5項目の改善策への取組を継続実施していくことが必要であると感じました。

○その他感想

- ・ 生乳は、「保存が効かず腐りやすい特性」があり、関係各位との連携しながら、効率的な物流体制や衛生的な作業管理体制を構築していく必要があると感じています。

○令和6年度からのトラック運転者の時間外労働の上限規制適用に向けて、今後取り組んでいきたいこと

- ・ 荷主と運送業者は、運行作業スケジュール表の提出による計画的な輸送作業等の情報を共有し、業務内容や時間管理を把握するとともに見える化による運行スケジュールの適正化や作業効率化を図り、時間外労働の改善や上限規制に向けて取り組んでいきたいと考えます。

○取り組みで良かったと感じたこと

当事者間で共有できていない課題があることが分かりました。また、共有できていても課題解決に向けた認識に違いがあることが分かり、普段のやり取りから細かい事の擦り合わせが必要だと分かったことは、今後自分たちで取り組みを行う際に、有益であると感じました。

○取り組みで難しかったと感じたこと

・生鮮品である生乳の特性ゆえに出来上がっている現状を関係者間で共有することや、生乳輸送についての知見しかない中、輸送の課題、課題解決の方針等を短い期間で考えることに難しさを感じました。

・労務時間が長いことについて、生乳流通に係るいくつかの過程(牧場、貯乳施設、乳業など)に、それぞれやむを得ず時間のかかる作業(例えば洗浄や検査など)があるため、時間が長くなる原因の、責任の所在を明確にすることが難しいと感じました。

○荷待ち時間を解消するために必要と感じたこと

- ・人による入場時間の管理。
- ・設備の増設、設備能力の増強。
- ・現状課題の把握、周知、共有。

○その他感想

十分な人員と原資があれば荷待ち時間は容易に解消されると思いますが、その原資をどこから捻出するのが課題になるため今回はそこに頼らない取り組みのみを提案させていただきました。

私たち酪農関係者と物流事業者の双方が、社会全体に生乳と物流の重要性を周知し、認識してもらうことが出来れば、輸送にかかる原資を獲得できるかもしれません。このことを物流の課題として取扱っていただければ、双方にメリットがあるのではないかと思います。

○令和6年度からのトラック運転者の時間外労働の上限規制適用に向けて、今後取り組んでいきたいこと

- ・関係者間での内容共有、現状把握、対策の検討。